

# 関東大学サッカーサポーターズクラブ

## サポーターズクラブ会員



年会費 継続：2,500円  
新規：3,000円

会員限定HPの閲覧

## シーズンパス会員



年会費 5,000円

年間のリーグ戦が無料で観戦可能

## 同時入会会員



年会費 継続：7,000円  
新規：7,500円

同時入会だとさらにお得！

色紙  
プレゼント

→中大座談会の様子



←こだけの情報満載  
中大座談会の様子

入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式HP内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス 7F  
(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ

E-mail:kuss@jufa.jp TEL:03-3830-1850

## ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップを  
ゲートにて500円(税込)  
で販売しております！

## 大学サッカー公式応援グッズ

ゲートではその他、本大会公式プログラム  
昨年度の全日本大学選手権プログラムなど  
販売しています♪

ぜひゲートにてお買い求めください！

## 集中応援情報

【第8節】◎朝鮮大学校グラウンド  
\*朝鮮大学校  
5月10日(日)11:30 Kick Off  
vs 東海大学

\*東京学芸大学  
5月10日(日)13:50 Kick Off  
vs 産業能率大学

【第9節】  
\*東京国際大学  
5月17日(日)13:50 Kick Off  
vs 拓殖大学  
◎東京国際大学第一サッカー場

皆様のご来場

お待ちしております♪

大

## JR東日本カップ 2015 第89回 関東大学サッカーリーグ戦

# if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM



Division 2 2015-No.8

発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：五味亜矢子、関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 日体大が開幕7連勝！連戦の締めくくりに注目

JR 東日前期リーグも後半戦へと突入した、JR 東日本カップ 2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦第7節。

横須賀で行われた関学大対東海大の一戦。前半は両者均衡した状態が続いたが、後半に入るとエース菅沼(4年)を中心に猛攻を仕掛ける関学大が3得点を挙げ、勝ち点を積み上げた。狹野で行われた日体大対東海大戦は、東海大が果敢に攻めるも、日体大の堅い守備に阻まれゴールを割ることが出来ない。対する日体大は前半にあげた1点を守り切り、開幕7連勝という絶好調ぶりで首位を堅守。続く青学大対東学大の試合は、後半に青学大が得点を挙げ、4連勝を飾った。

川口で行われた東国大対東洋大の一戦。東国大はなかなかシュートを放つことができず、対する東洋大も積極的攻めつつも決定力に欠け、スコアレスドローで終了。勝ち点1を分け合う結果となった。筑波大Gでの産能大対朝鮮大の試合は、後半になると産能大が猛攻を仕

得点ランキング		アシストランキング	
道馬 将也(東洋大)	7点	木村 魁人(関学大)	5アシスト
高井 和馬(日体大)	6点	仙頭 啓矢(東洋大)	5アシスト
北川 稔斗(筑波大)	6点	戸端 祥郎(筑波大)	4アシスト
藤井 貴之(日体大)	5点	金 秀勇(朝鮮大)	3アシスト
菅沼 優聖(関学大)	5点	榊田 優人(拓大)	3アシスト
仙頭 啓矢(東洋大)	5点		

掛けるも、アディショナルタイムに朝鮮大に1点を返されそのまま引き分けに。続く筑波大対拓大戦は、後半に入ると筑波大のゴールラッシュに。結局、4得点を挙げた筑波大が快勝した。連戦続きの最終戦。今節も熱い戦いが繰り広げられるだろう。

## JR 東日本カップ 2015 第89回 関東大学サッカーリーグ戦 2部 順位表

【2部第7節終了時】

チーム名	日体	関学	筑波	東洋	青学	東国	朝鮮	東学	拓大	産業	日本	東海	勝点	試合数	勝数	分敗	負敗	得失点差	得失点差	順位	
日本体育大学			100		301	300		200	201	401		100	21	7	7	0	0	16	3	13	1
関東学院大学					502		100	504	102	201	300	301	18	7	6	0	1	20	10	10	2
筑波大学	001						402	001	400	501	402	201	15	7	5	0	2	19	8	11	3
東洋大学						0Δ0	002	1Δ1	201	401	400	701	14	7	4	2	1	18	6	12	4
青山学院大学		103	205				3Δ3	100		200	401	201	13	7	4	2	1	15	13	2	5
東京国際大学		003			0Δ0			002		204	100	300	8	7	2	2	3	6	9	-3	6
朝鮮大学校		001	204	200	3Δ3	0Δ0			3Δ3	1Δ1			7	7	1	4	2	11	12	-1	7
東京学芸大学		002	405	100	1Δ1	001	200				001		7	7	2	1	4	8	10	-2	8
拓殖大学	102	201	004	102			3Δ3				1Δ1	2Δ2	6	7	1	3	3	10	15	-5	9
産業能率大学	104	102	105	104	002	402	1Δ1						4	7	1	1	5	9	20	-11	10
日本大学		003	204	004	104	001		100	1Δ1				4	7	1	1	5	5	17	-12	11
東海大学	001	103	102	107	102	003			2Δ2				1	7	0	1	6	6	20	-14	12

# サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業

Zeal Athlete Agency



体育会系学生のための  
リクナビ就職エージェント

# ゴールは、自分の中にある。

部活と就活にエールを送る！体育会系学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

# 青山学院大学 VS 拓殖大学

5月9日(土)  
11:30  
保土ヶ谷

青学大は前節、東学大との接戦を制し4連勝。なかなか連勝できなかった昨年と比べ、苦勞しながらも勝てる試合が増えている。東学大とはシュート数こそ6本ずつと同数だったが、90分を通して主導権を握る展開。72分に奪った1点をしっかりと守り1-0で勝利した。押し気味だった前半にシュート1本と攻め切れなかったのは課題だが、守備の安定は評価できる。さらに上位を狙う。一方の拓大は前節、筑波大と対戦して0-4と完敗を喫した。今季初勝利の後の試合で、筑波大の攻撃への対策として守備を重視しカウンターからチャンスを狙ったが、得点に結びつけられず。後半、前線とDFラインの間が間延びしてくると、70分以降、4点を献上してしまった。1試合4失点は今季最多。シュートも少なく、守から攻への切り替えに一考を要しようだ。

**3回警告:** 新山祐弥(拓大)  
**出場停止:** なし  
**昨年度の対戦:** 青学大3-3拓大/青学大2-1拓大

**五勝出俊仁(青学大・DF・2年)**  
前半から点も動かず、緊迫した試合の中で最後1点入って、無失点で終わったというのには、チームにとっても勢いづく試合だったと思う。連戦が続いて、中3日、しっかりリコンディションを整えてチーム一丸となって戦っていきたい。



**森川 遼 (拓大・FW・3年)**  
スタッフの期待にも応えなければいけないという気持ちで戦ったが、結果情けない形になった。反省点は見えてきているので次節へ活かしたい。勝たないと後期リーグへの返り遅いときに苦しい状況になってしまうので、何がなんでも勝ち点3を取るという気持ちで全員一丸となって戦っていききたい。

# 筑波大学 VS 東京国際大学

5月9日(土)  
11:30  
たつのこ

前節、拓大を4-0で破り5勝目を挙げた筑波大。その前の試合と同様、試合終盤に得点を重ね、2試合連続4得点と攻撃陣の調子が上がってきた。一方で、特に前半は拓大がブロックを敷いてきたこともあるが、今季初めて無失点で終わったことも光明。交代出場したFW若杉成哉(4年)とMF野口航(2年)の連携で先制、選手層も厚みが見えてきた。3位浮上で昇格圏の追撃態勢だ。対する東国大は前節、東洋大と対戦してスコアレスドロー。「(第3節) 日本体大に負けたから選手が迷って、負のスパイラルに陥ってしまった」(前田秀樹監督)という状況でそれ以後勝星がなく、この日はややメンバーを変えて挑み、66分に退場者を出しながら東洋大を無得点に抑えたことで浮上へのきっかけにしたいところ。昨年1部で勝てていない筑波大をいかに抑えられるか。

**3回警告:** なし  
**出場停止:** 楠本卓海(東国大)  
**昨年度の対戦:** 筑波大1-1東国大/筑波大4-0東国大

**小笠原佳祐(筑波大・DF・1年)**  
素直に勝って良かった。負けても盛り返して楽に戦えているので雰囲気も良いと思う。2連勝しているので、しっかり次も勝って少しでも首位との差を詰められるように頑張りたい。



**尾関良繁(東国大・GK・4年)**  
チャンスはあったが、ピンチの方が多くあった。勝ちきらなかったが、結果的に引き分けてしまったので悔しい。筑波大の方が格上だが、しっかり守って勝ちたい。

# 東洋大学 VS 関東学院大学

5月9日(土)  
13:50  
保土ヶ谷

4位に後退した東洋大。前節は東国大と対戦し、2試合連続の無得点でスコアレスドローに終わった。お互いのGKの好守もあったが、攻め切れないうまま、66分に相手DFが退場。「それで相手の守備意識が高まって、崩しにくくなってしまった」(古川毅監督)。その前の試合で初黒星を喫しており、攻撃ではボールを大事にし過ぎた印象も。2位との重要な試合。攻撃陣の復調なるか。一方の関学大は、初黒星を喫した後の前節、日本に3-0で勝利した。前半こそカウンターから反撃を受けて危ない場面もあったが、チーム全体が「連敗は許されない」という気合いを感じているプレーで失点を回避。後半はお互いに多数のシュートを打ち合う展開となり、70分・71分の連続得点と81分のダメ押し点で勝利した。立て直しが図れただけに、今節も焦れず攻め込みたい。

**3回警告:** 普光院誠(関学大)  
**出場停止:** なし  
**昨年度の対戦:** 東洋大2-1関学大/東洋大0-2関学大

**勝野 瑛 (東洋大・MF・1年)**  
相手が前からプレッシャーを掛けてきたので、いつものようなポジションセッティングができなかった。自分は試合に出てセカンドボールを取ることが意識したが、なかなかシュートまで持っていくことができなかった。前々節の試合では負けず、前節は引き分けたので、勝って連戦を終えたい。



**普光院誠(関学大・MF・4年)**  
前回は負けましたが、チームで引きずらないように意識した結果が出て良かった。前半なかなか点が決まらなかったが、集中力を切らさずにプレー出来たのが嬉しかった。次は東洋大戦で、上位対決になるので気を引き締めて勝ちにいききたい。

# 朝鮮大学校 VS 東海大学

5月10日(日)  
11:30  
朝鮮大G

朝鮮大は前節、産能大と1-1で引き分けた。7位に浮上したが、これに実在7試合中4試合目の引き分け。産能大に對し、ロングボールを駆使して相手陣内に攻め込むと同時に相手の攻撃を封じたが、前線でも作ることができたFW金秀勇(4年)を出場停止で欠き、攻撃は単発。1点を献上したが、アディショナルタイムに混戦から追い付いた。今節は攻撃の精度を上げていきたい。対する東海大は前節、首位の日本体大に對し、シュート数では12-8と上回りましたが0-1で敗れた。ペースを握られた前半の失点を最少に抑えたのはよかったが、後半に作り出したチャンスは日本体大守備陣の身体を張った守りに阻まれた。決定力の差が出た結果となったが、中盤でMF田村賢(3年)が積極的にボールに絡んでチャンスが増えた。良い形は今節にも持ち込みたい。

**3回警告:** なし  
**出場停止:** なし  
**昨年度の対戦:** なし

**韓勇太(朝鮮大・FW・1年)**  
最初の立ち上がりは良かったのだが、前線のプレッシャーで喉味でもっとも失点も発生してしまいました。僕のゴールも運が良かっただけで今日は負け試合かなと思う。波に乗って、点をたくさん取ってチームに貢献できるように頑張る。



**木村 竜也(東海大・DF・4年)**  
そろそろ勝たないといけないのだが、立ち上がりが悪かった。あの時間に失点してしまうと攻撃のリズムも作れないので、改善したい。もう1試合も落とせないので、間は短いですが、しっかり調整したい。後半はいい形もあったので、それを生かして、次はいい形で試合に入れるように頑張りたい。

# 日本体育大学 VS 日本大学

5月9日(土)  
11:30  
BMWス

開幕から全勝を守っている日体大だが、前節は最下位の東海大に苦しめられた。結果は1-0で、特に後半は押し込まれるシーンが多く、シュート数は8-12と上回られたが、DFを中心に身体を張った守りでリーグ最少失点を誇る守備力が発揮された内容となった。また、主導権を握った時間帯にしっかりと得点できる精度の高さも勝負を分けた。7連勝の勢いはまだ続きそうだ。一方の日大は、前節も3失点を喫し、関学大に0-3の敗戦。なかなか失点が減らず苦勞している。関学大に対しては、前半はカウンターからチャンスを出したが相手GKの好守にあって無得点。後半は打ち合いとなったが、70分以降に失点を重ねてしまった。4連敗と泥沼に陥っているが、全勝チームに對しては受けに回らず思い切ってプレーできるか。浮上のきっかけをつかみたい。

**3回警告:** 増谷幸祐、高野遼(日体大)  
**出場停止:** 袴倉行(日大)  
**昨年度の対戦:** 日体大0-0日大/日体大0-2日大

**藤井貴之(日体大・FW・4年)**  
早い時間に先制点を取ってよかった。アシストが良かったの二人のゴールだと思いがち。すぐに次の試合になりますが、しっかりと調整して臨みたい。連勝を伸ばしたいです。



**廣田和也(日大・MF・3年)**  
連戦が続いていて流れを変えたかったが、後半にミスから失点してしまったので簡単なミスを改善していきたい。試合に出られない人を含めて色々な人に支えられているので、ピッチに立つ人間としてもっと責任感を持って勝ちにいききたい。

# 東京学芸大学 VS 産業能率大学

5月10日(日)  
13:50  
朝鮮大G

東学大は前節、青学大に0-1で惜敗。これで4敗目を喫し、6位につけてはいるが5位の勝点差が「5」と徐々に離されている。青学大に對しては想定していた守備がはまらず、なかなかボールを奪えずに主導権を握られてしまった。ここ2試合連続で無得点と、決定力不足の課題もまた浮き彫りになってきた。連戦の疲れもあるだろうが、運動量を前面に発揮する必要がある。対する産能大は、初勝利のあと連勝を目指した前節、朝鮮大と1-1の引き分けに終わった。前半は、朝鮮大のロングボール攻撃にあってリズムをつかみず、シュートシーンを作れずじまい。71分に待望の先制点を取ったが、アディショナルタイムにセットプレーで押し込まれて追い付かなかった。ロングボール対策は今後の課題で、できる限り高い位置で撃って攻撃につなげたい。

**3回警告:** なし  
**出場停止:** 石川将人(東学大)  
**昨年度の対戦:** 東学大1-1産能大/東学大0-2産能大

**須賀健太(東学大・GK・4年)**  
自分達が準備していたこと、イメージしていたことが違っていたので、そのキツさで前半は押し込まれてしまった。後半修正が、なかなか勝せなかったという印象。昇格へ向けてそろそろ勝たないといけないのでチーム一丸となって頑張りたい。



**小池 拓樹(産能大・DF・4年)**  
点を取れたのは良かったが勝ちきれない部分の甘さが出たゲームになった。東学大は格上で難しいゲームになると思うが、応援も含めチーム一丸となって戦えば良いと思う。